



キットに入っているもの



- ①スクリーン(3枚)
- ②フレーム
- ③メルトインク 10ml
- ④リキッドマスク 10ml
- ⑤ビグテイント(水性アクリル樹脂顔料)ブラック 20ml
- ⑥細筆
- ⑦スキージー(※使用前に中性洗剤で洗う)
- ⑧スクリーン押さえゴム 70cm



作業時間目安:約60分～
※大人の科学.net
(otonanokagaku.net)で
動画を見られます。

シルク印刷キットの使い方

SILKSCREEN PRINT KIT



ビグテイントでプリントできる素材

- ・木
- ・紙
- ・革
- ・布地(起毛したもの、エナメル、ビニル素材以外)



準備するもの

- ・ハサミ
- ・アイロン
- ・定規
- ・あて布
- ・鉛筆(HB)
- ・緩衝シート
(もしくは折り畳んだ新聞紙や接着パネル)
- ・新聞紙
- ・縁貼りするテープ(マスキングテープなど)
- ・絵皿
- ・緑貼りするテープ(マスキングテープなど)
- ・ドライヤー
- ・ポリ手袋(印刷するときに気になる人のみ)

このキットに使われている部品の材質

※不用になったときは、各自自治体の決まりに従って処分してください。

- フレーム: ABS
- 筆: PS+アルミ+ナイロン
- スクリーン押さえゴム: PVC
- スキージー・ボトル蓋: PP
- スクリーン: PEs
- ボトル本体: PE

⚠ 注意 安全のため、本書の使い方と注意をよく読んでから実験してください。

- 本来の目的・用途以外では使用しないでください。
- 使い方をよく読み、安全にご使用ください。
- インク類は開封後なるべく早めにお使いください。長い期間が経過すると変質する場合があります。
- メルトインク・リキッドマスクは分離しておりますので、必ずよく振ってからご使用ください。
- 小さなお子さまに与えたり、手の届くところで使用・保管したりしないでください。
- 付属のインク類は本キット専用です。他のものと混ぜたり、他の目的には絶対に使用しないでください。
- インク類は体質によっては過敏に反応する場合があります。少しでも異常を感じたらすぐに使用をやめ、速やかに専門医の診察を受けてください。
- インク類を目に入れたり、インク類をさわった手で目をこすったりしないでください。万一目に入った場合は、すぐに多量の水で洗い流し、専門の医師に相談してください。
- 手にキズやしっしんがあるときは使用しないでください。体質によってかゆみ・かぶれなどを生じる場合があります。皮膚に異常を感じたときはご使用をやめ、専門医にご相談ください。
- 作業は必ず汚れてもよい場所、服装で行ってください。インク類が衣服、家具・家財等に付着すると取れなくなる場合があります。
- インク類が皮膚についたときは、石けんでよく洗ってください。気になるときはポリ手袋を着用してください。
- 塩素系漂白剤を使用すると変色する場合がありますので、使用しないでください。
- 保管するときは高温・多湿・直射日光を避けてください。
- 火気に近づけたり、熱源のそばで使用・保管したりしないでください。
- インク類のボトルを電気製品の上に置かないでください。こぼれて火災や故障の原因になります。
- 作業の前後は石けんなどで手を十分に洗ってください。
- 安全のため、変質したものは使用しないでください。

製品には万全を期しておりますが、万一部品の不良・不足等ございましたら、下記サイトよりお問い合わせください。

<https://www.corp-gakken.co.jp/contact/>

「版の作り方」と「単色(1色)刷り」



スクリーンを張る



1 フレームを裏返しにしてスクリーンを上下左右均等に乗せる。スクリーン押さえゴムを枠の溝の長さに合わせて約18センチと約12センチの2本ずつに切る。



2 スクリーンの位置をフレームの端に合わせてから、長辺の枠の溝に18cmのスクリーン押さえゴムを、溝の端に合わせて、スクリーンの上から指先で押さえつけてギュッと奥に入れ込む。



3 スキージーを使い、溝にはめたスクリーン押さえゴムを下にギュッと押し込む。外側のスクリーンを中に入れ込むイメージで一番奥まで押し込む。



4 反対側の長辺にも2~3の要領でスクリーン押さえゴムを押し込む。先にスキージーでスクリーンを溝に入れて、上からゴムを入れるとやりやすい。



5 短辺側にも2~4の要領でスクリーン押さえゴムを押し込み、枠に対してスクリーンの目がなるべく水平になるように張る。4箇所とも張れたら、さらにピンと張るように調整する。

ここがポイント!

スクリーンをうまく張るには位置合わせが大切。外れないようゴムはきつく設計してありますので、少しずつ指先やスキージーの角で押し込んでください。

新しい版を作るときは、フレームのスクリーンを端から持ち上げると、簡単に外せます。スクリーンの端の糸がほつれていたら、切ってください。

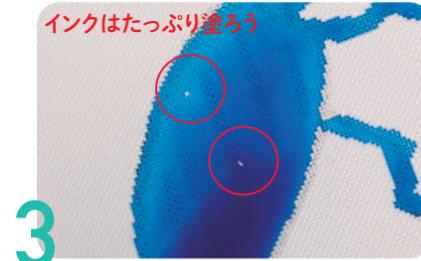
メルトインクで描く



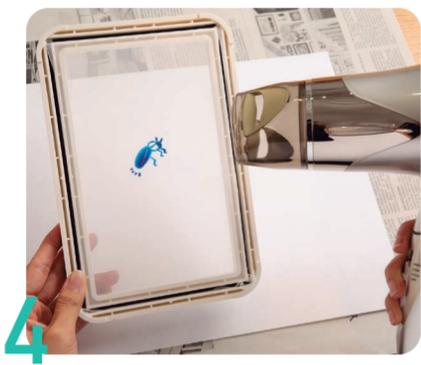
1 スクリーンのおもて面に、直接HBの鉛筆で図版の下書きを描く。または別に準備した図版の下絵の上に重ねておき、スクリーンの上から鉛筆でなぞる。



2 インクをよく振ってから使おう
まわりが汚れないように新聞紙などを敷く。メルトインクをよく振ってから絵皿に出し、スクリーンの裏面からスクリーンの目をふさぐように下書きを細筆でなぞる。



3 インクはたっぷり塗ろう
スクリーンを光に透かし、メルトインクでスクリーンの目をふさげているかを確認する。写真のように穴があいていたり、薄い場合も、上からメルトインクを重ねてぬろう。



4 メルトインクでスクリーンの目をふさげているかを確認したら、ドライヤーの温風をおもて面と裏面の両方にあてて乾燥させる。手につかなくなればOK。



1 リキッドマスクは分離するので使う前によく振ってから、スキージー(※使用前に中性洗剤で洗う)の端に載せる。量は、スキージーを3~4往復させるくらいにたっぷりつける。



2 裏返したフレームを斜めに傾けながら、下から上へと均一にやさしく刷り切るようにリキッドマスクを伸ばして塗布する。
※失敗したらすぐにお湯で洗えばやり直せますが、メルトインクも流れてしまいます。

メルトインクをお湯で流す



3 ドライヤーの温風をあて、リキッドマスクが手につかなくなるまで乾燥させる。乾燥してから、目がふさがっているか確認する。穴があいていたらその部分に裏からインクを埋める。



1 リキッドマスクが乾燥したら、ぬるま湯でメルトインクを指の腹で刷り落とすように両面から洗い落とし、乾かす。このときスキージーも洗って、乾燥させる。



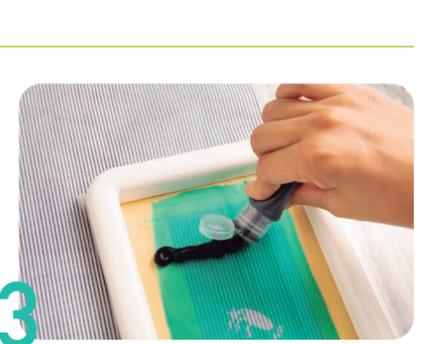
2 マスクの穴は裏面から補修
リキッドマスクを塗布した部分に穴があいてしまったら、細筆などで平らになるようにリキッドマスクを裏面から塗って修正する。



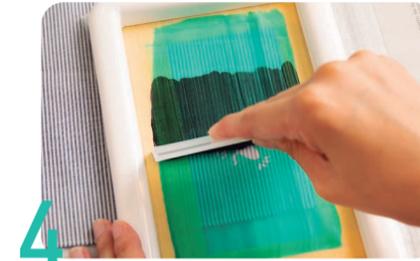
1 フレームを裏返し、スクリーンの端とリキッドマスクの境目を一周するようにマスキングテープなどで縁貼りする。リキッドマスクの面積が狭い場合は、顔料がみ出さないように貼る。



2 印刷したい生地の下に緩衝シート(あるいは畳んだ新聞紙)を敷く。固定しにくい素材の場合は市販の接着パネル(片面がシールになっている)を使い、パネルに生地を貼るとやりやすい。



3 スクリーンを生地に着させ、図版の上端に幅に合わせてビグティントを塗布する。ビグティントは内ぶたをとってから使用する。インクが気になる場合は、ポリ手袋を着用しよう。



4 フレームが動かないようにしっかりと押さえながら、塗布したビグティントをスキージーで手前に強く刷る。



5 刷り終わったら、フレームを端からゆっくりとはがす。インクが手に付いた場合は石けんでよく洗い流してください。フレームに付いた場合も早めにふきとりましょう。

ここがポイント!

ビグティントが乾き切る前であれば、続けて印刷できます。刷る際、図版の下でスキージーを手前に立てるようにすると、余ったビグティントをすくいあげられます。

スクリーンはビグティントが乾いてしまう前に、スポンジなどを使って洗いましょ。ビグティントでスクリーンの目がつまる前に洗えば、版を繰り返し使うことができます。

乾燥~仕上げ



1 印刷した部分をドライヤーもしくは自然乾燥で乾かす。



2 印刷した部分が乾いたら、素材に適した温度であて布をあてながら10~20秒ほどアイロンをかけて固着させると洗濯しても落ちにくくなります。

完成!

単色(1色)刷りの完成。

製版不要の「多色刷り」

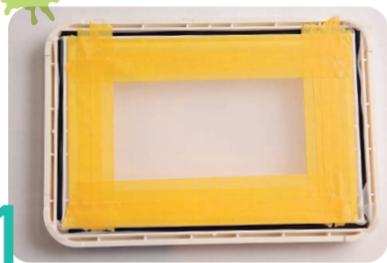
刷ってみよう! | マーブル柄エプロン | 作業時間目安:約20分



追加で準備するもの

- ・ビグティント3色 (作例の場合はホワイト、オレンジ、ブロン ※別売)
- ・箸など先の尖った棒状のもの (筆の後ろ側を使ってもOK)
- ・接着パネル (※別売 片面がシールになっているもの)

版の準備



1 スクリーンを張ったフレームを裏返し、テープを使って印刷したい形の版をつくる。あるいはP46~47の手順でお好みの版をつくる。



2 接着パネルのはり紙をはがし、生地裏側に接着面を貼り付けて生地を固定する。

印刷する



1 版を印刷したい部分にのせ、版の上端にビグティント3色を交互にのせる。



2 キットの細筆の後ろ側や、箸など尖ったものを使い、ビグティントを混ぜる。このとき混ぜすぎないように注意する。



3 フレームが動かないようにしっかりと押さえながら、塗布したビグティントをスキージーを使って手前に強く刷る。



4 刷り終わったら、フレームを端からゆっくりとはがす。印刷した部分が乾いたら、あて布をあてながらアイロンをかけて固着させる。

ちょっと本格的「2版重ね刷り」

刷ってみよう! | 2色プリントソックス | 作業時間目安:約90分



追加で準備するもの

- ・ビグティント2色 (作例の場合 ソックス: ブロン・レッド/タイツ: ブラック・ピンク ※別売)
- ・接着パネル (※別売 片面がシールになっているもの)

版の準備



1 全体の下絵を描き、印刷したい色ごとに区切る。区切った色ごとに下絵をスクリーンに写して版を作る。ズレてもかわいい絵柄を選ぶのがポイント。



2 生地に印刷しない部分は、スクリーンの裏面からテープを貼ってふさぐ。

印刷する



1 接着パネルを使って生地を固定する。下に印刷したい色の版をのせて生地に密着させ、上端にビグティントを出す。



2 スキージーを使って、手前に強く刷る。刷り終わったら、フレームの端からゆっくりとはがす。



3 ドライヤーの温風で印刷した部分を乾燥させる。



4 上に印刷したい色の版をのせ、1~2の要領で刷る。印刷した部分が乾燥したら、あて布をあててアイロンで固着させる。

キットを使ってこんな印刷も!



4色マーブル印刷

上記の版を使い、ビグティントのブラック、ブルー、スカイブルー、ホワイト(別売)でマーブル印刷をすれば、さらに雰囲気異なる印刷に。白い生地や紙に印刷するときには、ホワイトの代わりに別の色のビグティントを試しても。



革にも印刷できる

布や紙だけでなく、革の素材にも印刷できます。ほかにもレーヨン、キュプラ、ビニロン、ナイロン、白木などいろいろな素材に、細かいモチーフも印刷できます。



レタリング印刷

図版の代わりに文字をなぞればレタリング印刷も可能に。紙製のギフトボックスやバッグの好きな場所に、メッセージなどを簡単に印刷することができます。



基本の作り方の動画は
otonanokagaku.net
で見られます。



Q: フレームにうまくスクリーンが張れません。

A: 外側にはみ出ているスクリーンを溝の中に入れ込むように、先にスキージーで溝に押し込んでから押さえゴムを上から入れるのがうまくいくポイントです。ゴムは抜けないようにきつめに設計されています。指先やスキージーの角を使って、少しずつ押し込んでください。動画も公開していますので、参考してみてください。

Q: メルトインクでうまく描くことができません。

A: メルトインクが乾いた後に透かしてみても穴があいていたり、薄い部分は、そこだけあとから塗って乾かせば大丈夫です。付属の筆は細かい部分が描けるよう細筆ですが、描きにくければ普段使われている筆を使って描いてみてください。メッシュの目をしっかり埋めることが、きれいな版を作るコツです。

Q: 版にポツポツ穴ができてしまいました。

A: 透かしてみても、穴のあいているところにリキッドマスクで穴をふさぐように裏面からぬり、乾かせば後からでも穴は埋まります。

Q: インクが手や顔、服についてしまいました。

A: インク類が手やものについた場合は、すぐに水かお湯で洗い流してください。時間が経つと取れにくくなります。フレームにもついた場合もすぐ洗いましょ。



インクがなくなったときや、他の色がほしいときは？

キットのメルトインク、リキッドマスク、ビッグティントがなくなったときや、多色印刷をしたいときは、別売のアイテムをお買い求めください。



桂屋ファイングッズのオンラインショップでは10色の基本色のほか、ラメ色のゴールドとホワイトパール、蓄光色のネオンイエローのビッグティントを販売中。さまざまな色を揃えれば、クリエイションの幅がさらに広がります。市販のシルク印刷用のインクも使用できます。

桂屋ファイングッズ オンラインショップ
www.katsuraya-fg.com/onlineshop/



スクリーンがなくなった場合は？

ショップ学研+にて販売しています。(数に限りがあります)
市販品のシルク用スクリーンでもOKです。
<https://gakken-mall.jp/ec/plus/>



スクリーン押さえゴムがなくなった場合は？

市販の網戸張り替え用のゴム
4.5mmの太さのもので代用できますので
お試しください。



のん 衣装クレジット

- コスチューム
- ・ ベージュコーディネート
Short Coverall ¥39,600-(RHODOLIRION) / 5Pockets Suspender Pant ¥42,900-(RHODOLIRION)
Lace Cuff Ribbed Crew Neck ¥15,400-(RHODOLIRION)
- ・ 表紙Tシャツのコーディネート
Long Tail Crew Shirt ¥19,800-(RHODOLIRION) / Overall ¥52,800-(RHODOLIRION × REBUILD by NEEDLES)
- ・ お問い合わせ先
NEPENTHES WOMAN TOKYO
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-42-5村田ビル1F / tel 03-5962-7721

- アクセサリー
- ・ ベージュコーディネート
パール SV イヤーカフ ¥18,700-(e.m.)
・ 表紙Tシャツのコーディネート
SV イヤーカフ ¥16,500-(e.m.)
- ・ お問い合わせ先
e.m. 青山店
〒107-0062 東京都港区南青山3-17-7 1F
tel 03-6712-6797

大人の科学マガジン シルク印刷キット

この製品に関する各種お問い合わせ先
 ■ 製品内容お問い合わせフォーム <https://www.corp-gakken.co.jp/contact/>
 ■ 在庫について… ☎03-6431-1197 (販売部)
 ■ 不良品について… ☎0570-000577 学研業務センター 〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富279-1
 ■ 上記以外のお問い合わせ… ☎0570-056-710 (学研グループ総合案内)

- ・ 本誌の無断転載、複製、複写(コピー)、翻訳を禁じます。
- ・ 本誌を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内でのご利用であっても、著作権法上、認められておりません。
- ・ 学研グループの書籍・雑誌についての新刊情報・詳細情報は下記をご覧ください。

学研出版サイト <https://hon.gakken.jp/> 公式Twitter @OKM_F
大人の科学.net <https://otonanokagaku.net> 公式Facebook @otonanokagaku

©Gakken/KATSURAYA FINEGOODS Made in Japan

プレゼント付きアンケート

この商品のアンケートにご協力ください。抽選で図書カードをプレゼントします。下記のURLか右の二次元コードから、アンケートページへお進みください。



https://gakken-ep.jp/extra/otonanokagaku_q/

STAFF

企画・編集	西村俊之(統括編集長)	AD・デザイン	修水(Osami)
	新屋数信美(編集長)	カバー写真	かくだみほ
	平谷美咲	校正	フライスパーン
スタッフ	栗田佳織 井上貴代	キット開発・製作	桂屋ファイングッズ株式会社
	川嶋隆義 丹野加奈子		株式会社ナナミ
	林みき 眞形隆之		